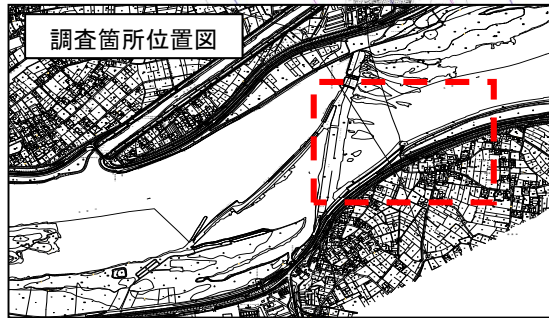


《別添一5》河床形状調査

河床形状調査

河床形状調査

堰下流右岸では河床洗掘に伴う深掘れやそれに伴う根固めブロックの移動が懸念されており、過年度より継続して河床形状調査を実施しています。平成27年度もこれまでと同様に現状の河床形状を詳細に調査するとともに、過年度の調査結果と比較しました。

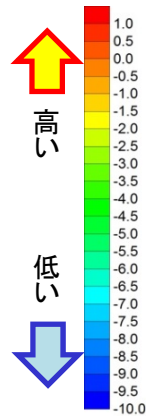


河床コンター図(平成27年11月)

吉野川河床地形図

基準面 A.P.=0.0m

平成27年11月測量



第十堰

吉野川

調査船(移動局)

河床高計測機器



調査方法

無線で基地局の位置情報を送信することで移動局の位置を把握

(基地局)

(移動局)

水位

①

②

ソナーヘッド
(河床高計測機器)

圧力式水位計
による水位計測

河床高

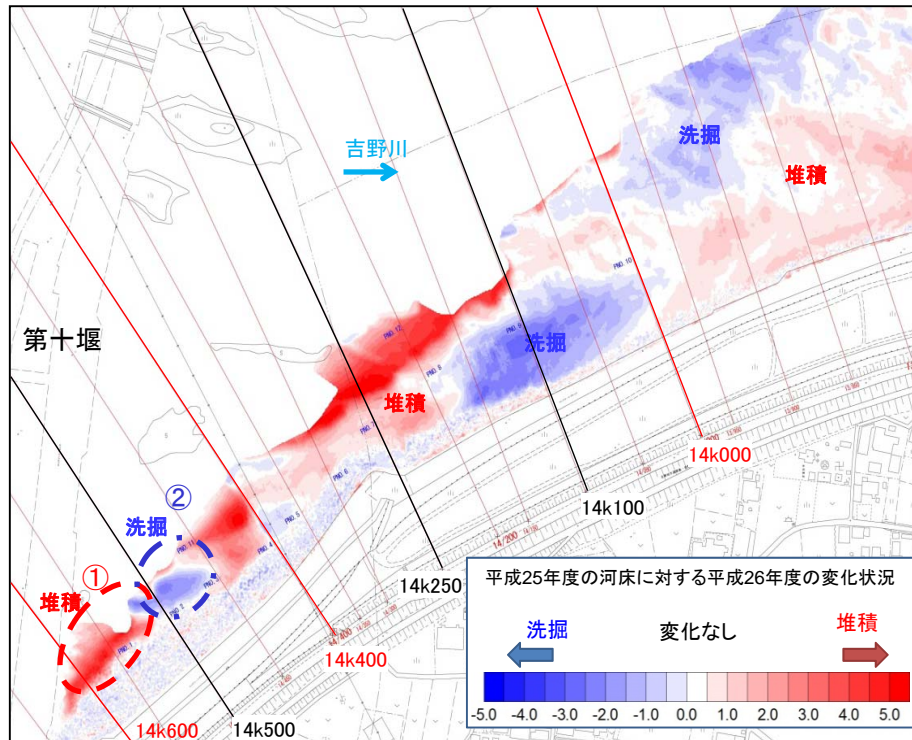
- ①水面からセンサーまでの距離
 - ②センサーから河床までの距離
- 観測時の水位、①、②の関係から河床高を計測する

河床形状調査

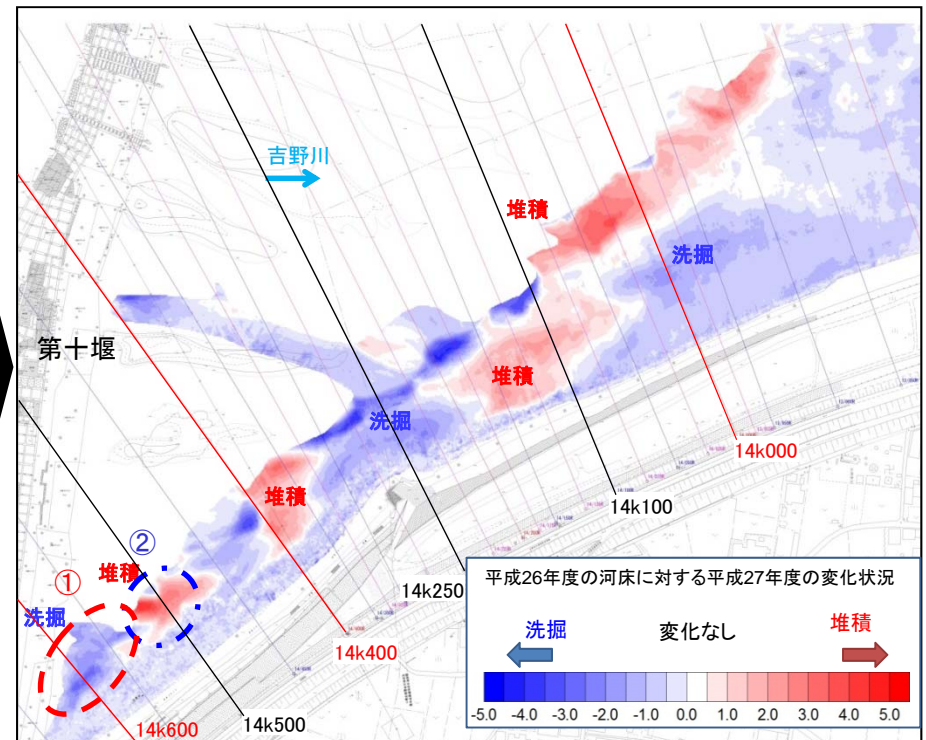
過年度の調査結果との比較

前回(平成26年)と今回(平成27年)の河床の変化状況について、比較を行いました。

平成26年度の河床形状と平成25年度の河床形状との変化状況



平成27年度の河床形状と平成26年度の河床形状との変化状況

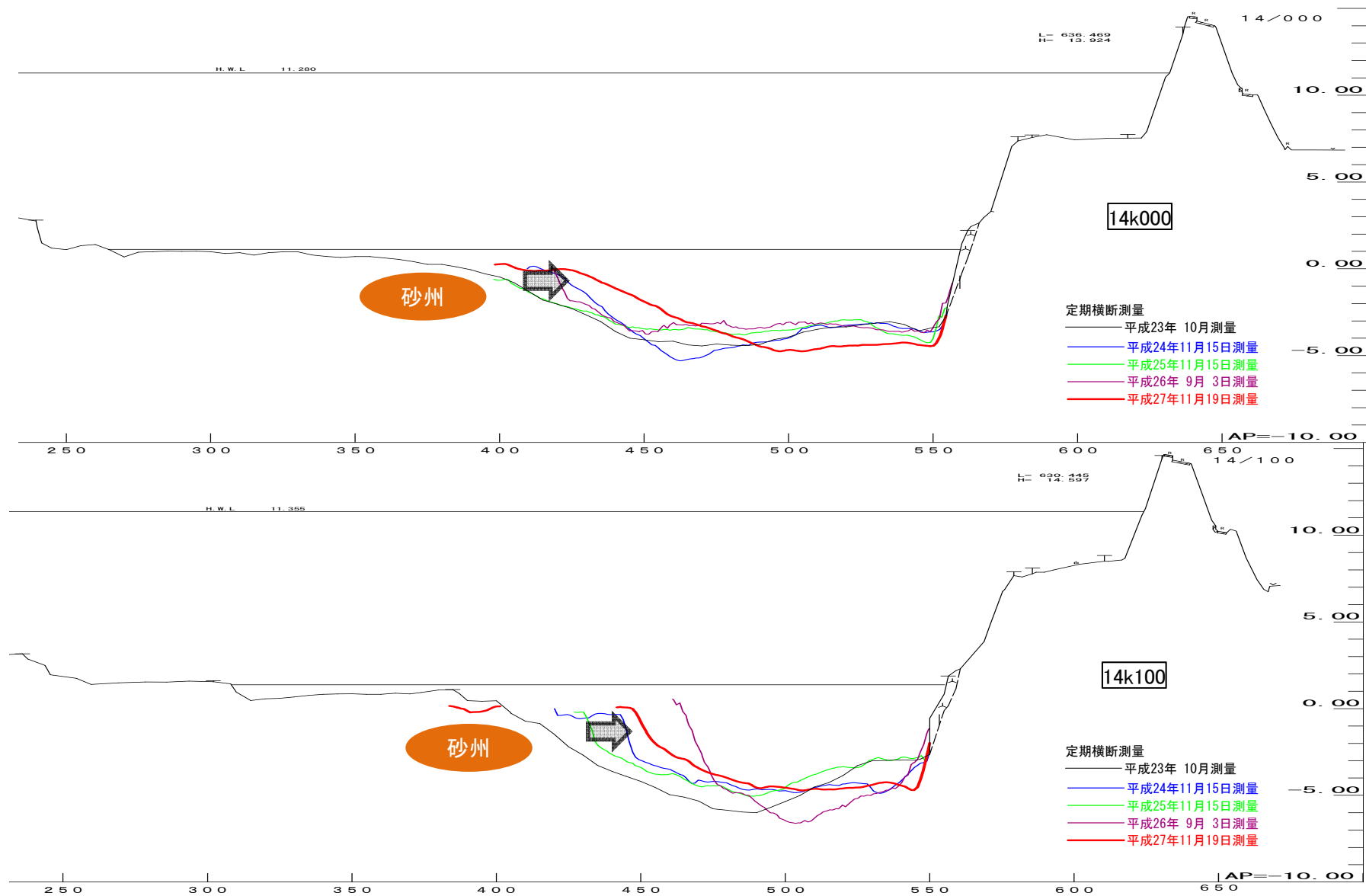


- ・①の箇所については、平成26年度は平成25年度に対して堆積傾向にあったが、平成27年度は洗掘傾向であることが確認できました。
- ・②の箇所については、平成26年度は平成25年度に対して洗掘傾向にあったが、平成27年度は堆積傾向であることが確認できました。

河床形状調査：断面14k000、14k100

過年度の調査結果との比較

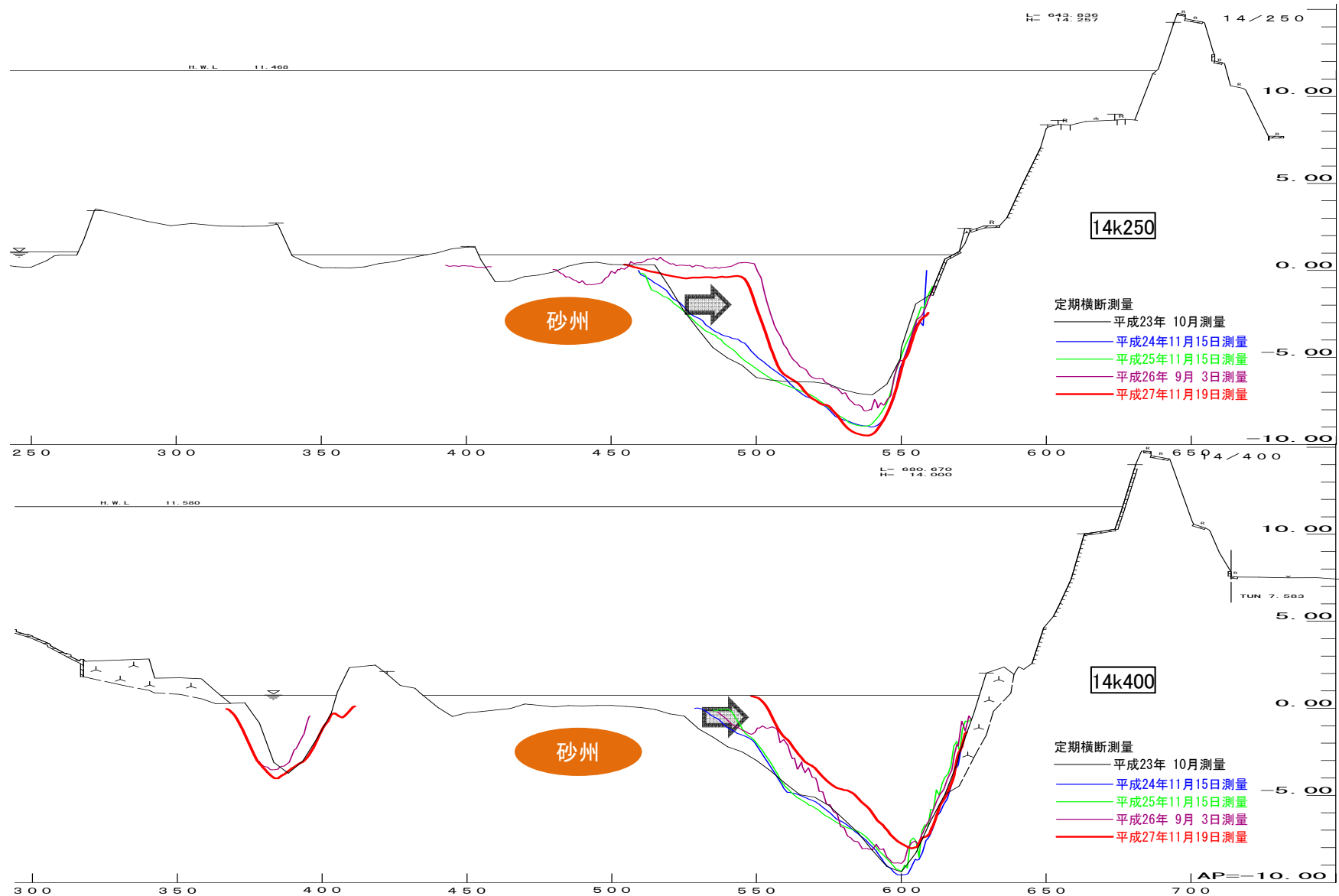
平成23年度から今回(平成27年)までの河床の変化状況について、断面図による重ね合せ比較を行いました。堰の直下においては、近年の断面状況と大きな変化はありませんが、更に下流では、砂州が右岸側に拡大している状況が確認できました。



河床形状調査：断面14k250、14k400

過年度の調査結果との比較

平成23年度から今回(平成27年)までの河床の変化状況について、断面図による重ね合せ比較を行いました。堰の直下においては、近年の断面状況と大きな変化はありませんが、更に下流では、砂州が右岸側に拡大している状況が確認できました。



河床形状調査：断面14k500、14k600

過年度の調査結果との比較

平成23年度から今回(平成27年)までの河床の変化状況について、断面図による重ね合せ比較を行いました。堰の直下においては、近年の断面状況と大きな変化はありませんが、更に下流では、砂州が右岸側に拡大している状況が確認できました。

